

ふるさとの歴史を学ぶ
美夜古郷土史学校を開設。
史跡や文化財をめぐり、
歴史文化を広げる活動を展開。

■ ルート名：豊の国歴史ロマン街道
山内 公二 さん



Scenic Byway Kyushu Meister



豊の国風景街道推進協議会 会長
(2021年度～現在)
豊前の街道をゆく会 現代表
かんだ郷土史研究会 現代表
山内 公二 さん

◆ 特徴的な活動

「活力ある地域づくり」

- ・ イベント企画・開催
- ・ まち歩き

「観光振興」

- ・ ガイドブック作成

「人材育成」

- ・ 学校開設

活動内容

2014年、九州風景街道マイスターに認定された山内公二氏はいくつもの役目を果たす人である。名刺には「豊の国風景街道推進協議会長」のほか、「行橋市文化財調査委員」、「美夜古郷土史学校事務局長」、「豊前の街道をゆく会代表世話人」という役職名が記されており、忙しい毎日を送っている。

山内氏は「私の人生は、いつも二刀流です」と笑う。高校時代は勉強そっちのけで、学校新聞作りの3年間だった。「広報誌を編集したい」と行橋市役所に就職して広報を担当したが、「勉強もしなければ」と22歳から八幡大学短期大学部（夜間部）に片道1時間半かけて通学。卒業後は、市職員（広報担当）は、郷土の歴史を知らなくてはと地元の郷土史研究会に入会。10年後の34歳の時、「郷土史研究会は高齢者ばかり。若者の郷土史勉強会を」と「美夜古郷土史学校」を開設。これまで50年間、毎月、郷土史講座を開催してきた。

Scenic Byway Kyushu
Meister
豊の国歴史ロマン街道
山内 公二さん



美夜古郷土史学校

美夜古郷土史学校開校直後の「中近世の豊前紀行記」という講座で、江戸時代の旅人の旅日記の面白さに出会い、街道研究を始めた。「豊前の街道」の調査・研究では各地の連携が必要だと痛切に感じて、「旧豊前国の北九州、中津、宇佐の同志と、1998年（平成10年）、「豊前の街道をゆく会」を発足させた。この会では、豊前の街道探索ウォークや歴史講演会、各地の街道をめぐるバスツアーを開催。2000年には、ガイドブック「中津街道」を発行した。2010年（平成22年）に「豊の国歴史ロマン街道—小倉常盤橋から宇佐の森へ」として、日本風景街道九州ルートに登録された。

郷土史家としての活動

山内氏は、20代から50代の市職員在職中、市広報誌の編集のほか、郷土史研究会の機関誌「美夜古文化」の編集や日刊新聞各紙地方版への投稿を続け、「京築風土記」、「写真集 明治・大正・昭和」、「写真集 行橋」、

「郷土史学校講義録」、「京築の文学碑」などを出版。59歳で退職後は65歳まで行橋市史編纂室に勤務、「行橋市史」発行に携わった。その後、7年間300回にわたり、朝日新聞京築版に「新京築風土記」を執筆し、連載終了後に単行本として出版。多くの人に愛読されており、現在も、東九州放送（株）スターコーンFMで「新京築風土記」の放送（月1回・30分）を続けている。



豊前街道の 歴史文化を広げる

2003年4月、豊の国風景街道推進協議会会長に就任した山内氏は、23年前に発行した「中津街道」の内容を更新・拡大して、「豊の国歴史ロマン街道 小倉—中津—宇佐の道」を刊行し、いと、執筆・編集メンバーを結成して、現地の再調査と執筆を続けている。来年（2025年）の出版が楽しみだ。

